



# 観光情報

## ◆時差

日本との時差は-2時間。カンボジアの方が遅れている。サマータイムはない。

## ◆平均気温・降水量・服装

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高気温	32	33	35	36	35	34	33	32	32	31	31	31
最低気温	20	21	26	25	25	25	25	25	25	24	22	20
降水量	1	4	28	61	176	221	237	151	276	248	82	10
服装	A/B	A/B	A	A	A	A	A	A	A	A/B	A/B	A/B

※ 気温は°C、降水量はmm  
※ A:夏服・半袖 B:薄手のセーター、カーディガン等 C:冬服・薄手のコート等 D:厚手のコート、手袋等の防寒具

## ◆通貨

更新日:2014.04.02

通貨単位・略号	補助通貨	対米ドルレート	円換算
リエル RIEL / S KHR	- = -	3997.3 リエル	0.03円

◆電圧・周波数	120/220V 50HZ
◆日本宛郵便物料金	ハガキ:KHR 2,000 封書:10G迄 KHR2,440 20G迄 KHR2,720
◆飲み水	ミネラルウォーターを利用すること。氷も避けた方がよい。

## ◆タクシー

メーターはないので、交渉が必要。

## ◆チップ

習慣はないが、重いものを運んでもらった場合1~2000リエル程度。



イメージ



イメージ



## アンコール・ワット

世界遺産。アンコール遺跡群の中でも最大の規模を誇る宗教寺院。寺院全体の面積は約 200ha。東京ドーム約 15 個分の広さをもつ。寺院はクメール建築の傑作といわれており、回廊の壁面に埋め尽くされたレリーフは必見。古代インドの叙事詩を題材にした物語や、スールヤヴァルマン2世の軍隊パレードがいきいきと描かれている。

## アンコール・トム

周囲 12km、広さは 9 平方 km。高さ 8m の頑丈な城壁内には、觀世音菩薩の四面仏尊顔を祀る「バイヨン寺院」があります。アンコール・ワットと同様、宗教的宇宙観をもとに構成される。バイヨン寺院は須弥山を、城壁はヒマラヤの靈峰を、環濠は大海原を模している。



イメージ



イメージ



イメージ

## パンテアイ・スレイ

「女の砦」という意味のこの遺跡は、アンコール・ワットの北東 30km に位置する小寺院。中央神殿の祠堂に刻まれたデヴァターの彫像は世界屈指の美術作品として知られ、「東洋のモナリザ」とも評されている。作家アンドレ・マルローがその美しさに惹かれてデバター像を盗み出そうとし、そのときのてん末をもとに『王道』を書いたことは有名なエピソード。

## タ・プローム

アンコール・トムの東部に位置する主要な遺跡の一つ。建築の特徴は、平地型のバイヨン様式。東西 1km、南北 600m の周壁に囲まれた広大な敷地内には三重の回廊があり、塔、塔門、小祠堂などの建物が回廊によつて複雑に繋がっている。南と北には小寺院が備わり西側には独立した 2 つの塔がある。この寺院は発見当時の姿のまま保存されている。長い間ジャングルの中で放置されていたせいか、巨大な榕樹（カンボジア語でスポアン。ガジュマルの一一種）が遺跡に絡み付き得もいわれぬ神秘の世界を創りだしている。



イメージ



イメージ